

感染したら安静が第一

脳炎本

十歳以下の子どもを注意

七月七日の新聞で「県下ではじめて日本脳炎発生」と報じられてからすでに二か月。この間に、患者は一〇名に急上昇。感染した人の三〇％が死亡するといわれている。この日本脳炎は、八月から九月にかけて発生する危険があるといわれている。また、いくらなわが国でも、感染した人の三〇％が知能低下、性格異常などの後遺症のこるともいわれています。

この日本脳炎から、わたしたちのかわいい子どもをまもるには、どのようにしたらよいのでしょうか。

今年、さいわいまだ市内で発生していませんが、日本脳炎の予防、原因、症状、治療についてみなさんと一緒に考えてみましょう。

◎予防

感染経路がわかれば、予防はすぐ可能。蚊を駆除し、蚊に刺されないように、DDTやBHCを利用して積極的に感染源（たとえばカ）のほくめつなどいろいろあります。

どの病気にも「予防にまさる治療はない」といわれていますが、特効薬のないこの病気にはこのことがいっそうよく要望されます。

◎原因

病原体であるウイルスは、カによって媒介され、八月から九月にかけては流行する時期があります。

◎症状

病原体であるウイルスが、体内に侵入してから四から十の四日間くらいたってからつぎのような症状がでてきます。

まず三十九度前後の熱が出て、はげしい頭痛、食欲不振、おう吐などが起こります。

これからさらに病状が悪化しますと、うわごとをいったりけいれんしたり、あばれまわったり、光をきららしたりして、やがてこん状態におちります。重症になりますと意識不明のまま死亡する場合があります。

◎治療

いまだに、日本脳炎を完全になおす治療剤や抗生物質はありません。ですから、日本脳炎に感染したらまず安静が第一です。

そのためには、氷のうや水まくらをして、病室をくらくして換気し、食をとり、部屋を涼しくすることが必要です。

また、食事がとれなくなったり、けいれんや興奮がひどかったりしたときは、ぶどう糖などの栄養剤か、鎮静剤をもちいたりします。

無事故のひけつ

スピードを出さないこと

表彰の優良運転手語る

交通安全法をよくまもり、いたましい交通事故を「ゼロ」にしようとして三年前に交通安全協会を設立した七月十日、交通安全協会白根支部では、市内一週パレードをおこない事故をなくするために呼びかけていました。

その夜七時から厚生会館で永年運転手として、まだ事故にあつたことのない人たち十六名を表彰。なかでも、新潟交通の運転手のかたで、三十年間無事故という井上七太郎（五四〇西白根）さんと、二十五年間無事故という長谷川三郎（四四〇砂押）さんの表彰には、さかなな拍手がおこられていました。

「この二人のかたは、二十五年から三十年間毎日毎日運転をしながらどうして事故がおきなかったのだらうか」と不思議におもっている人も



30年間無事故の表彰をうける井上さん

あることでしょう。二人のかたに無事故の「ひけつ」をばなしてもらいました。「ひけつなどすべてにありませぬが、わたしたち新潟交通の運転手は、いつも何百名という乗客の命をあたさつていますので、つぎのようになことに気を付けていました。

まず、スピードを出さない。早く寝て、体を十分にやめる。酒をのんだらハンドルをにぎらない。法規をまもって一歩ゆずるといふ精神で運転した。」と、かたがていきました。

今年の六月までの事故件数は昨年と同じ。しかし、死亡者

防犯灯設置に助成金

九月いっぱいまで受けつけ

県では、昭和三十六年から防犯灯の増設運動を毎年おこなってきました。この運動をおこなつてから県内各地で約一万八千灯の増設がおこなわれ、町や村の夜道はだいぶ明るくなつてきました。

しかし、明るくなつたというよりは幹線だけで、支線や裏通り、新興住宅地などでは、まだまだ暗いところが多くあり、夜間の犯罪や事故が防止できるところまではいっていません。

そこで県では、昭和四十二年までの三年間の増設運動を続けて、明かるいまちづく運動にお一層力を入れようと、九月までに防犯灯を設

来月二日に点字講習会

産業厚生会館で

いま、市内には目の不自由な人が九〇名ほどおられます。このかたは「本を読みたい」と思つても印刷した本は読めないわけです。

そこで、「目の不自由な人にもなんとか読書をしてほしい」というのが生まれました。

しかし、現在点字にほん読める人がすくないので、そのようなかた全員に本を読んでもらうのは無理です。そこで「わたしたちの手でほん読を」という心あたままる声か全国あちこちにおこり、いま点字奉仕をしているかたは全国に何万とあります。

しかし、まだまだ点字にほん読するかたがすくないのです。

そこで本市にも「点字をおぼえて、ほん読をしたい」という声があり、このたび点字講習会をつぎのとおり開くことになりました。みなさんの多数の出席をお願いします。

なお、ほん読するための機械や紙は日赤新潟支部でお貸しする予定です。

問い合わせは福祉事務所へ問い合わせください。

＜枝豆の枝はたばねて＞

これから枝豆がグンとおいしくなる季節です。どこの家庭にも枝豆の枝が山と積まれることでしょう。その枝を一本一本バラにしてゴミ箱に入れておきますと、それをあつめる人はたいへんめいわくをします。枝は、豆をもちだあとヒモカナワでたばねてゴミ箱に入れて、ゴミの収集がスムーズにゆくようみなさんの協力をお願いします。

(保健課から)



＜9月の農地相談室＞

来月の農地相談室はつぎのとおり開かれます。農地の交換、分割などいろいろな農地問題について気軽に相談ください。

9月13日	14日	15日	16日
駐在室	新飯田	庄大	鷲小
	田井	瀬郷	巻林
			根岸

＜戦没者遺族の実態調査に協力を＞

昭和20年の終戦から今年でちょうど20周年をむかえ戦没者遺族の待遇については年々改善されております。

しかし、戦没者遺族のかたで、いまなおなんの待遇も受けていないかたがいてると思われまます。そこで、日本遺族会では、このようなかたがひとりもいなくなるように、と、その実態調査をするようになりました。

まだなんの待遇も受けていないかたは、福祉事務所か各駐在室へ問い合わせください。

＜警察官を募集中＞

県警察では、つぎのような要項で昭和41年度の警察官を募集しています。

- 採用予定人員 男子150名、女子10名
- 申込み締切り 9月4日
- 受験資格者
 - 年齢 昭和15年4月2日から昭和22年4月1日までに生まれたもの。ただし昭和41年3月に卒業する見込みのものは、昭和23年4月1日までに生まれたもの。
 - 学歴 ・男子 高校卒業以上の学力を有するもの
・女子 高校を卒業したもの、またはこれと同等以上の学歴を有するもの
- 第1次試験 イ、期日 9月12日 ロ、場所 県警察学校
なお、くわしく知りたいかたは、警察署かまよりの駐在所へ問い合わせください。



トロノコのコースを力走(100m決勝)



悪コンデションを若さでカバー

七月十八日(日) 第七回白根市青年大会がひらかれ、白根市のグラウンドで陸上を、同中体育館で柔道を、鷲巻のす

この三日間のキャンプには約十九名が参加し、歌ったり踊ったりしての楽しいなかにも規律正しい生活をおくってきた。

キャンプの写真を見て、おもしろいところを学級生が、そのたのしさを写真によつてもう一度思い出させてたのしいはなしに花をさかせていました。



キャンプ場での朝の体操

この詩に
ピツタリの曲を

白根保育園では、前に詩を募集しましたが、こんどはつぎの詩にピツタリの曲を募集しています。

1. 特選一点 賞金二千円
2. 入選一点 〃 五百円
3. 締め切り 八月三十日
4. 送り先 白根保育園

なお、募集要項はつぎのとおりです。

のをひろつてみますと、登録証のある刀剣や銃砲を買つたりした場合、二十日以内に文化財保護委員会に届けなくてはなりません。(市の教委へ届けると手続きをしてくれま

刀剣類を人に売つたりする場合は、相手の人が許可証をもっているかどうかをたしかめること。また、その人にわたしても法律的にさしつかえがないかどうかをたしかめること。

許可証や登録証の交付手数料が二〇〇円から、五〇〇円に引き上げられました。